



学校教育目標
「国際社会を 心豊かに 元気に かしこく 生きる子どもの育成」



指標 (意識調査より)

自分によいところがある
課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組む
話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えを伝える
友達の話や意見を最後まで聞く

子どもにつけたい力(資質・能力の育成)

何を身につけるか・何ができるようになるか

- 主体的に考え、状況に応じて課題を解決しようとする。
- 学んだ知識や技能を用いて、よりよく解決しようとする。
- 自分の思いや考えをわかりやすく説明しようとする。
- 自分や相手のことを大切にしようとする。
- 様々な考えから自分の考えを深めようとする。
- 目的に応じて、互いの考えや思いを伝えようとする。
- 適切にコミュニケーションをとろうとする。
- 自分や相手のいいところをわかろうとする。

何を学ぶか

- 互いの違いや立場に気付き、尊重できる態度。
- 自分の考えを持ち、様々に表現できる力。

どのように学ぶか

- グループ活動やペアワークを通じて、多様な見方や考え方を学ぶ。
- シンキングツールをもとに、自分の考えを深め、相手に伝える経験を重ねる。

**研究テーマ▶「わかった・できた・伝え合おう」
～自分の思いや考えを伝え合おう～**

学校の研究推進

各研究部会による重点的な取組み

教科教育研究部会
重点教科:国語科
◎考える力を育み、自分の考えを持てる工夫
◎物語文を通して自信を持って自分の考え伝える
◎多様な考えを認め合う、登場人物や相手の気持ちを想像するための工夫

ICT・情報教育研究部会
ICT(情報通信技術)機器を活用して、学びを深める
◎プログラミング教育におけるカリキュラム
◎タブレット活用方法
◎タブレットを活用した実践
◎情報モラル教育

人権・道徳教育研究部会
自分も友だちも大切に安心できる集団づくり
◎自尊感情・人とかかわる力・協力する力を育てる道徳の授業づくり
◎共に学んでいこうとする集団づくり
◎いのちの教育

英語・外国語教育研究部会
◎主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする力
◎国際理解を深め、外国の文化や違いを認めあう多様な価値感、考え方を
◎ペアワーク、グループ活動を通して表現

